

## 令和５年度一般会計決算の概要

### ● 歳入

歳入については、市税収入のうち、新增築家屋の増加や新規設備投資に伴い、固定資産税が５億２，０８７万円増収となったことなどにより、市税全体では８億６，７０９万円の増収となりました。

また、新火葬場整備運営事業に係る構成市負担金が１５億３，８０３万円の減となったことなどにより、分担金及び負担金が１６億３０４万円の減収となる一方、木更津市庁舎建設基金を廃止し庁舎整備基金を新設したことに伴い、基金積立額を積み替えるための繰入金が２５億６，３７２万円の増となったことなどにより、繰入金が３７億７，３０９万円の増収となりました。

この結果、歳入の決算額は、前年度比１８億５，２４４万円、３．３％増の５７４億５，１１９万円となりました。

### ● 歳出

歳出については、令和５年度から４か年の市政運営の道標としてスタートした第３次基本計画に則り、次代へつなぐまちづくりのステップアップを図り、持続可能なまちづくりを推進するための施策に取り組みました。

主な内容としては、感染症の感染予防の周知・啓発や生活習慣病の発症・重症化予防に努めることにより、保健・医療の充実に取り組んだほか、消防署富来田分署の施設整備を進めるとともに、水槽付消防ポンプ自動車や高規格救急自動車、小型動力ポンプ付積載車の更新整備による消防・救急救助体制の充実、子育て世帯への経済対策として、高校生に相当する年齢まで子ども医療費の助成対象を拡大し、子育て世帯の医療に係る経済的負担の軽減に取り組むことによる、子育て支援の充実など基本構想に定めるまちづくりの基本方向に従い各種事業に取り組みました。

この結果、歳出の決算額は、前年度比１２億６，７０４万円、２．４％増の５４６億６３９万円となりました。

### ● 収支の差し引き額

令和６年度に繰り越した事業を除く実質収支額は、１９億１，８１１万円の黒字となりました（実質収支額のうち、１６億１，８１１万円は財政調整基金へ積み立てました）。